

関東合同労働組合  
第五回大会一般運動方針に関する宣言

関東合同五年の成績

我が関東合同労働組合は、此處に第五回大会を迎へた。顧れば五年前、南部合同労働組合、城北合同労働組合、荏原労働組合の三組合の大会開行、産業界の大労働組合を其の信條とし、旗色を天下に宣明した。我々組合五年の絶えざる闘争と組織力は遂に産業界と同等の地位を占めしめた。殊に労働大衆の唯一の代表的組合として堅固なる基礎の確立をなした。殊に本年度は大凡三十四件の争議を処理しつゝ、他方埼玉縣川口市には勤労者十数百名の川口金屬労働組合を組織し、又日本運輸労働組合を組織創立せしめた。これ実に合同全組合負の誇りとすべしである。

最近の経済状況

最近に於ける我が国経済事情は益々險惡なる動搖を續けつゝある。尤も金融恐慌は實に日本資本主義経済の不安定を利用して、意識的に金融大資本團の獨

占的地位の確立をなしたものに外ならない。此の産業合理化の影況として、獨占資本系以外の工場は或いは倒れ、或いは縮小し實に慘たる状態に押込められた。

資本家の生産は常に労働者階級を犠牲にすることに依つてのみ存続を展する。産業合理化の影況はかくて資本攻勢の極端なる事実となつて現れ、労働者階級に對する痛烈なる壓迫となりつゝある。

最近我が國の労働争議は年數百件を算するも、其の原因は殆んど産業合理化を通じて資本攻勢の結果である。他方之等争議に對する取解方針は労働者団結権の徹底的擁護を以つてし、一切の犠牲を労働者に転化しつゝ、資本的經濟の全的安全を計りつゝある。

最近の政治状況

殊に昭和四年七月組閣したる次口民政党内閣は、財政緊縮を標榜し、而して彼の回際を借改善、社会政策の確立、関稅政策の三大審議會を改置し、之を中心として労働打斷を試みんとして狂奔してある。民政党内閣の金融緊縮行爲は既に宣明せし如く、公債の整理を中心とする。